「離・着岸に自信がつく」

ジェイス 離・着岸祭り REPORT

第4回

2016年10月22日(土)・23(日)
9:00〜17:00　実施

22日(土)	曇り時々晴れ：風 4 m/s
23日(日)	晴れ：風 5 m/s

お楽しみ 新企画 実施！　グループ対抗「4×ロープワークリレー」

- 会　　場：JEIS 横浜 桟橋
- 参 加 費：7,000円 / 名（表彰パーティーフィー含）
- 参加資格：小型船舶操縦士免許所有者
- 参加者数：1日16名、計32名
- 使 用 艇：むさし6号、7号 … ヤマハ FR-23（23 ft・船外機 150 馬力）
  むさし8号、9号 … ヤマハ FR-20（20 ft・船外機 90 馬力）
- ○練習は、1隻に4名＋担当教員
- ○審査は、1隻1名に教員2名が採点

イベントの詳しい内容・1日の流れは、**「第1回」レポート** に掲載しています。

「第1回」レポートは、下の方に掲載しています

【22日・結果】

2位 96点　1位 98点　3位 96点

【23日・結果】

2位 96点　1位 98点　3位 96点

※ 同点の場合は、カウントバック方式により決定。

1〜3位入賞の方には「金・銀・胴」メダルを授与、記念品（JEISオリジナルキャップ＆ベルト、YAMAHAトートバッグ）を贈呈。頑張った方には、敢闘賞を授与いたしました。

教員からの 総評

2日間とも天候にはかなり恵まれました。朝のうちは風があったので、うまくいかなかったところもありましたが、午後からは風もおさまりグッドコンディションでした。

上位グループはやはりいい点数を出していましたね。両日、過去最高得点も出ましたし、同様に良い成績の方がたくさんおられました。得点上位の方、これからもこの調子をキープできるよう頑張っていただきたいです。

上手くいかなかった方は、この離・着岸祭りは第5回、第6回と続きますので挽回のチャンスは今後いくらでもありますし、あとは「JEIS セミナー」に参加して腕を磨く、という手もあります。

離・着岸が得意な方も、そうでない方も、みなさんにはもっとうまくなって欲しいと思いますので、実力アップのために JEIS 関東をどんどん利用して、ご活用いただけたら幸いです。今回も多くのご参加をありがとうございました。お疲れ様でした！

PHOTO GALLERY　デモンストレーション・新企画 の様子

PHOTO GALLERY

カモメさんたちがそっと、教習で頑張る
みなさんを見守ってくれていました。

JEIS 講師による、着岸の妙技を披露！

デモンストレーション

「その場回頭（スタンディング・ターン）」、風を利用した「縦列着岸」など、
JEIS 講師が上級テクニックを実演。狭いスペースでの着岸を華麗にキメます！

★【新企画】★ グループ対抗戦４人の力を結集して、チームワークで勝利をつかもう！

4×ロープワークリレー

ロープワークを１人１種類おこない、次の人にバトンタッチ。
グループ４名でかかった時間を競います。優勝グループには豪華賞品あり☆

１グループ・４名で「巻き結び２種、もやい結び、クリート結び」
いずれか１人１種を担当します。得意な結び方で技能を振り分けるのも戦略のひとつ。
２グループごと予選を行い、それぞれ勝ち抜けた組で決勝戦、優勝チームを決定します。

❶ 結び方の種類別で 1~4 番走者を決め、スタートラインにスタンバイ。

❷ よーいドン！で、ロープワークポイントへ向かい、結んで、戻って、次の人へバトンタッチ。

❸ ４人がゴールしたら、結びを教員がチェック。

❹ 着順、スピードも大事ですが、「正確に・確実に結べているか」が１番重要。

速かったチームでも、結びが間違っていたら減点・不合格となり、
遅かったチームがパーフェクトなら、遅いチームの勝ちとなります。

新企画「グループ対抗・４×ロープワークリレー」は
見る側も、実際にリレーする時も、ハラハラ・ドキドキで大いに
盛り上がり、みなさんの親交も深まる機会にもなり好評でした♪
次回もたくさんのご参加をお待ちしております！

「離・着岸に自信がつく」

ジェイス 離・着岸祭り REPORT

第3回

2016年4月16日(土)
9:00〜17:00　実施

16日(土)　晴れ：風 午前3 m/s、午前6 m/s

※17日(日)は、15m/s級の風予報により中止としました。

- 会　　場：JEIS 横浜 桟橋
- 参 加 費：7,000円 / 名（ボートライフ応援価格。表彰パーティーフィー含）
- 参加資格：小型船舶操縦士免許所有者
- 参加者数：計16名
- 使 用 艇：むさし3号、5号 … ヤマハ Belfino（20 ft・船外機 80 馬力）
  むさし6号、7号 … ヤマハ FR-23（23 ft・船外機 150 馬力）
- 練習は、1隻に4名＋担当教員
- 審査は、1隻1名に教員2名が採点

イベントの詳しい内容・1日の流れは、**「第1回」レポート** に掲載しています。

「第1回」レポートは、下の方に掲載しています

【結果】

1位 93点　2位 93点　3位 91点

※1位と2位はカウントバック方式により決定。

教員からの総評

前半、後半、右舷、左舷…順番や位置によって差が出たと思いますが‘運’もありますから、結果が振るわなかった方、あまり落ち込まないでくださいね（笑）。

毎回そうですが、朝の練習はベタ凪でグッドコンディションでも、午後のコンテストになると強風になったりと、今日もそんなパターンでひどい感じのようだけど、実はそう難しくはないコンディションでした。

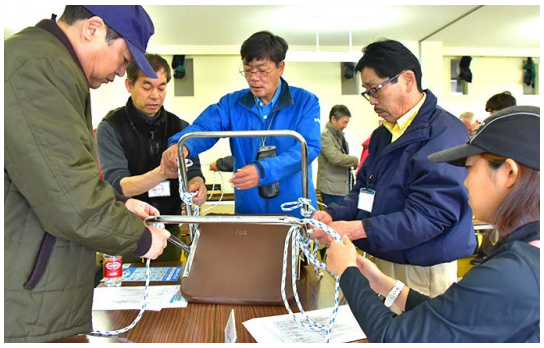
全体的に、係留、解らん、見張り作業は良く出来ていました。重要な作業がきちんと出来ているのが素晴らしかったです。

JEIS 横浜の桟橋はちょっと特徴があって、独特な風や波の流れがあり、場所場所で、浮くのか、寄るのか、離れるのか…そういうのが読むのが難しく、他の寄港地やマリーナにも同じことが言えますが、桟橋の色んな形状、気象条件がありますので、あらゆることにも対応できるようになっていただきたいと思います。

その腕を磨くためには…またぜひ JEIS 横浜にお越しくださるしかないかな！（笑）みなさま、お疲れ様でした。

PHOTO GALLERY

PHOTO GALLERY



大好評の「ジェイス 離・着岸祭り」は、
今後 第４回、第５回と、開催予定しております。
特に、やむなく中止となった 17 日開催回 参加ご予定だった方、
次回のご参加を心からお待ちしております♪

「離・着岸に自信がつく」

ジェイス 離・着岸祭り REPORT

第２回

2015 年 10 月 24 日(土)・25 (日)

9:00〜17:00　実施

24 日(土)	晴れ：風　6 m/s
25 日(日)	晴れ：風　6 m/s

- 会　　場 ：JEIS 横浜 桟橋
- 参 加 費 ：5,000 円 / 名（ボートライフ応援価格。表彰パーティーフィー含）
- 参加資格 ：小型船舶操縦士免許所有者
- 参加者数 ：１日 16 名、計 32 名
- 使 用 艇 ：むさし３号、５号 … ヤマハ Belfino（20 ft・船外機 80 馬力）
  むさし６号、７号 … ヤマハ FR-23 （23 ft・船外機 150 馬力）
- 練習は、１隻に４名＋担当教員
- 審査は、１隻１名に教員２名が採点

イベントの詳しい内容・１日の流れは、**「第１回」レポート** に掲載しています。

「第１回」レポートは、下の方に掲載しています

【24 日・結果】

1 位 97 点　**2 位** 93 点　**3 位** 93 点

【25 日・結果】

1 位 95 点　**2 位** 93 点　**3 位** 92 点

※２位と３位はカウントバック方式により決定。

教員からの 総評

《24 日 総評》

午前中は風が弱くて結構やりやすかったのが、テストの時間になったら強くなってうまくいかなくなる… 3 回開催して毎回そんな感じですが、今回は途中で別の教習艇が入ってきて、それが気になってうまくいかなかった方もいました。ですが、ありとあらゆる状況で着けなければなりませんので、どんなケースにも対応できるようにしておきたいですね。

全体的に離岸は問題なかったですが、フェンダーの取り扱いがもたついたりと、やはり着岸の減点が一番多く、何も考えずに、ヒョイヒョイっとできるように、自分に合ったやり方を見つけるのも大事ですね。

《25 日 総評》

今日は一番いい条件でした。特にうまく着けられる方はバシッと決まってましたね。

ただ、吹き流しだったのが吹き寄せになったり真後ろから吹いたりとか、風がコロコロ変化していったのには、かなり苦労はされたと思います。

そして 4 回開催の中で一番和気あいあいとされていて、お祭りをとても楽しんでいたように見えてましたが、これから採点しましょう、となった時に一番、緊張もされていましたね（笑）。この人優勝候補だな…と思いきや 1 つ着岸で作業が飛んで真っ白になったり。

全体的にはみなさん上手でした。今以上に上達しますのでこれからも腕を磨いてください。

PHOTO GALLERY

PHOTO GALLERY

今回うまくいかなかった方でも、次回は優勝のチャンスがあります。
ぜひ 何度でも「ジェイス 離・着岸祭り」にチャレンジしてください。
次回もたくさんのご参加をお待ちしております♪

「離・着岸に自信がつく」

ジェイス 離・着岸祭り REPORT

2015 年 3 月 21 日㈯㊗・22 ㈰　9:00〜17:00　実施

●会場：JEIS 横浜 桟橋　●参加費：5,000 円 / 名（ボートライフ応援価格！ 表彰パーティーフィー含）

●参加資格：小型船舶操縦士免許所有者　●参加者数：1 日 16 名、計 32 名

‘どこにもない NEW イベント’「離・着岸祭り」とは？

気楽に・気軽に、多くの方が苦手とするボートの離着岸を克服できる、
‘お祭り気分’で取り組めるユニークな講習会。
午前中は操船技術に自信をつけるための、徹底的な繰り返し実践練習、
午後は練習の成果と習熟度をチェックするための審査を「コンテスト形式」でおこないます。

スキル UP

離・着岸をたったの 3 時間でマスター！

「グループ教習」

苦手な方は、楽しみながら克服できる絶好のチャンス。
自信のある方は、離・着岸方法のバリエーションを増やします。

必見

海のプロフェッショナル
JEIS 講師による着岸の妙技を披露！

「デモンストレーション」

「その場回頭（スタンディング・ターン）」、風を利用した「縦列着岸」など、JEIS 講師が上級テクニックを実演。狭いスペースでの着岸を華麗にキメます！

腕試し

コンテスト形式で
腕を競いながら習熟度チェック！

「離・着岸コンテスト」

講師が項目別に審査、採点をして、参加者に『項目別・習熟度チェック表』をお渡しします。1 位〜3 位に入賞された方には記念メダルが授与されます。

使用艇

- 練習は 1 隻に 4 名＋担当教員
- 審査は、1 隻 1 名に教員 2 名が採点

むさし 6 号、7 号

ヤマハ FR-23（23 ft・船外機 150 馬力）

むさし 3 号、5 号

ヤマハ Belfino（20 ft・船外機 80 馬力）

9:00～ オリエンテーリング

JEIS 横浜本部・3F 302 教室にて、1 日の流れ、グループ分けや担当教員紹介など、講習の内容と進め方を説明をしました。

9:20～12:00 グループ教習

初心者の方でも、しばらく操船してなくて色々と忘れちゃったな…という方でも安心です。

まずは、ライフジャケット着用、一連のクルーワークから実際の操船に至るまで、基礎から丁寧にレクチャーします。今まで疑問に思っていた事、うまく出来ない事もこの機会にどんどん質問して、不安を解消してくださいね。

教習前は不安でいっぱいだった方でも、経験豊富なプロならではの知恵を伝授されると、「そうか、こういう時はこうしたらいいんだ」と、納得から安心、さらに自信へつながっていた様子でした。

限られた時間でも、頼れる講師が効率よくスキルアップをお手伝い。出港前の準備から操船、離・着岸を短時間でも身につけることができます。

説明を受けたら即実践、そしてまた次の手順も、説明を聞いたら実践する、というように、手順を理解してからすぐに実践し、体感しながら繰り返し練習をします。

とにかく身体を動かすこと！そうして行動していくうちに、みなさんの体も気持ちもほぐれていき、どの組も和やかなリラックスムードの中で受講されていました。

繰り返し練習をしていくと、自信が出てきたようで、気合いの入った光景があちらこちらで見られ、「巻き結びをもっと早く！」「つぎはさっきより上手く着岸するぞ～」と、時間いっぱい、真剣に練習に取り組んでいました。

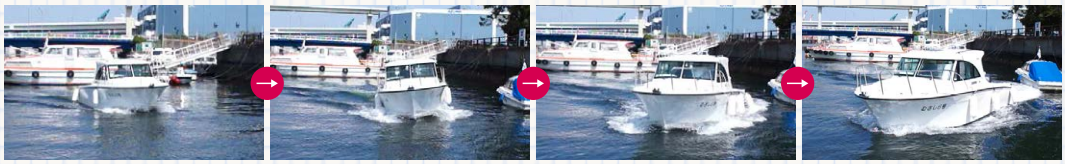
終始、和気あいあいの雰囲気♪
同じ目的を持った者同士だから
自然と連帯感がうまれます。

12:00～13:00
昼食・休憩
離・着岸デモンストレーション

休憩中も、離・着岸づくし…!?
目玉のひとつ、JEIS 講師よる「デモンストレーション」で
海のプロフェッショナルの高度な技術を披露しました。

風を利用した「縦列着岸」をはじめ､「その場回頭（スタンディング・ターン)」で狭いスペースに直角に入って停める技や、右舷着岸をするはずが、陸からの指示で左舷づけに…という急なムチャ振りでもサラリと対応し、どんな着岸技でもいとも簡単に実演。

ズシャーーッとスプレーをあげながら豪快に着岸すると、「かっこいい！」「おお～」と歓声が沸き、目の当たりにしたスゴ技に、みなさんは ‘もう笑うしかない’ といった様子で、プロの操縦テクニックに拍手喝采、教員も気分上々で大いに盛り上がりました。



デモンストレーション担当
井下教員のつぶやき

船内では､ハンドルを右に左に素早く回転させつつ､
片方の手では同時にリモコンレバーを前後に入れたりと
結構､忙しくしていました(笑)

イベントということでスピードを上げて披露しましたが､
良い子のみなさんは決してマネしないように！

みなさんがとても喜んでくださったので
私も楽しかったです♪

13:00～14:00
自由練習

いよいよ審査とコンテスト本番直前。
時間が無いとあきらめずに練習、練習。

この時間は、グループ教習で上手く出来なかった点を確認しながら、仕上げ練習をします。ほんの 1 時間ですが、安全とサポートのために担当教員が同乗するので、安心して練習できます。

14:00～15:30

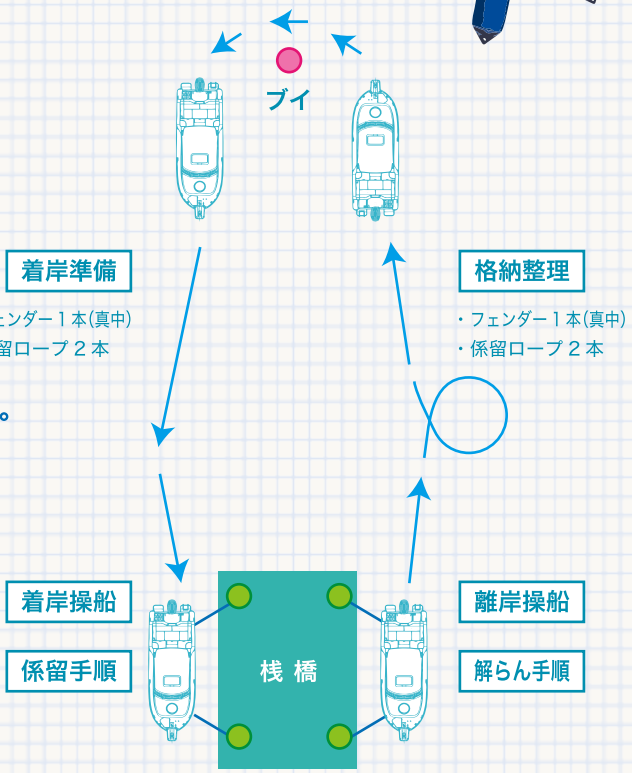
習熟度チェック
離・着岸コンテスト

習熟度チェック・コンテスト方法

- **1 人に対して教員 2 人が審査員として同乗し、習熟度チェックをおこないます。**
- **1 度に 2 隻づつ実施し、チェック項目は 10 ポイント。**

解らん手順❶	離岸操船（周囲の安全確認含む）❷❸	
格納整理❹	着岸準備❺	着岸操船❻❼❽❾
係留手順❿		

ガンバレ！ファイト！
カモメさんからも、みなさんへの
激励が送られていました。



※ 桟橋の反対側から離岸する場合は、逆になります。

上手くできるかどうかドキドキしながら、本番スタート。

朝からすると見違えて上達したみなさんですが、解らんから係留まで、2 人の教員が至近距離で細部までチェックするということで、審査中は緊張感がさらに増したことでしょう。

順番によって、急に風向きや風速が変化して、練習の時と条件が異なり、苦戦される場面もいくつかありましたが、練習の甲斐あって、どなたもなかなかうまく対応できていました。

お祭りだから、楽しまなきゃ損！
JEIS 桟橋の上は、「チームワーク」の温かさにあふれていました。

審査の順番を待つ桟橋上では、コンテストに挑む前に再確認する姿があちらこちらにあり、自由練習でもうまくいかなかったところを教員に尋ねたり、仲間同士でフォローしあっていました。

手順通りにロープワークができると「完璧、完璧！大丈夫だよ」と励まして送り出し、自分の番が終わっても、グループの仲間の様子をずっと見守っていたりと、まさしく「チームワーク」の力で一丸となって、コンテストに挑まれていました。

抜群の腕前で着岸された方が桟橋にあがると、「うまいうまい！」と掛け値なしの賞賛の拍手で迎えられ、思い通りにいかなかった方には、温かいねぎらいの言葉を掛け、ラストの方にいたっては「最後なんでバチっとキメてね！」、「満点でね！」、「(海に) 落ちないでね！」と、励ましなのかプレッシャーなのかわからないエールが寄せられ、お祭りを楽しむ感覚で、参加者のみなさん自身がイベントを盛り立ててくれました。

16:00 ～ 17:00

表彰式・パーティー

教習と審査が終了して、まずは、ほっと一息タイム。

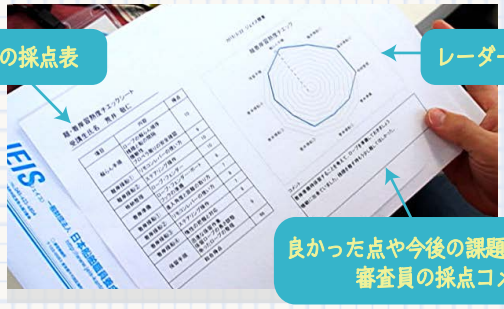
1F ロビーにて、表彰式パーティーをおこないました。気になる採点表の配布と審査結果の発表は、あとのお楽しみとして取っておいて…まずはお疲れさまの乾杯！ さらに、1 日頑張ったみなさんをねぎらうべく、JEIS 横浜本部が誇るプロ・ミュージシャン ‘サミー’（営業責任者・有吉）が、歌と演奏をプレゼントさせていただきました。

ギターは、離・着岸祭りにちなみ
‘フェンダー社製’ のエレクトリックギター！
2 曲披露し、「海 その愛」ではみなさまに
ご唱和ねがい、特別ライブは好評でした。
（都合により 21 日だけの限定ライブとなりました）

個人別の採点表がひとりひとりの手元に届けられたら、お待ちかねの順位発表と表彰式！

会場の空気もバッチリ温まったところで、「個人別・習熟度チェック表」をお渡ししました。

チェック項目の採点は、1～5 の 5 段階、審査員 2 人の合計 100 点満点で評価され、コメントも記載されています。さらに、得点を視認化した「レーダーチャート」も添付。自分の得意・不得意なところが一目瞭然となっており、自身の傾向を客観的に知る事ができます。



【21 日・結果】
1 位 96 点　2 位 91 点　3 位 87 点

【22 日・結果】
1 位 97 点　2 位 96 点　3 位 94 点

採点表が行き渡ったところで、いよいよお待ちかねの順位発表！当初は 1 位～3 位までの設定でしたが、みなさんの熱意に心を動かされ、「審査員特別賞」を急遽ご用意。各グループから 1 名ずつ選出し、協賛・ヤマハ発動機 ㈱ 提供の「ヤマハロゴ入り T シャツ」が贈られました。

見事上位に入賞された TOP3 の方には、金、銀、銅の記念メダルを授与、副賞に JEIS ベルトと JEIS キャップが贈呈されました。素晴らしい成績を収めたみなさま、受賞おめでとうございました。

また、参加者の方全員に、ヤマハロゴ入りボールペン、JEIS ロゴ入りオリジナル・スポーツタオル、JEIS カレンダーを進呈しました。

教員からの 総評

教員も楽しくやらせていただきました。条件が良かった朝と風が変わってしまったので、練習では上手くいっていたのに、審査の時は着岸が苦労されてて、そこがちょっと残念だったなというくらいで、全体的には、みなさん技術をお持ちだなと思いました。

でも審査ということで、焦って行動が早くなってしまったり、いつもと違う状況で操船することも難しかったかも知れません。落ち着いて行動できるようになると、もっとベストですね。船長が焦っていると、乗船者が不安な気持ちになりますから。

着岸の条件は場所により様々ですので、広いところからまっすぐ行けるとは限りませんし、風の変化など色んな状況に対応できるよう、どんな状況でも上手く着岸できるように、これから先もどんどん腕を磨いていただきたいです。お疲れさまでした。

17:00

解散

離・着岸のお祭りは盛況のうちに閉幕、充実した笑顔で解散。
みなさま、お疲れさまでした。次回の開催も、ぜひお楽しみに！！

教習、練習、コンテストを無事に終えて解散していくみなさんが笑顔で「楽しかった」「次回があればまた参加します」といった嬉しいお言葉をたくさん寄せてくださいました。満席でのご参加に、JEIS職員一同、心より感謝しております。ありがとうございました。

次回は、大好評につき、年内開催を検討しています。たくさんの方に「離・着岸」の苦手意識や不安を解消してもらえるよう、実践の機会を増やすべく、このお祭りを定着していきたいと願います。

参加者の声

最初は緊張してましたが、
先生からコツを教わって何回か繰り返し練習すると、
そのコツがうまく掴めた手応えを感じました。

練習の時が一番落ち着いてたかな。本番はこんなものかと…
これが自分の実力ということですからね。
久しぶりに良い緊張をしました。
午前中に練習をじっくりやらせてもらったので良かったです。

審査が終わった時はホッとしました。
自信もついたし楽しかったです。
他にも色々苦手なことはありますけど、
離着岸が一番心配していたところなので、
この企画があって助かりました。
また忘れないように
これからも練習を続ける事が大事ですね。

先生２人から間近で審査されるのは、
失敗してはいけないという、変な緊張はありますね。
時間は逆に短く感じました。
やるべき項目が多くて、あっという間でしたよ。

プライベートな友達じゃない、同じ目的を持った「同志」とのびのび練習できるところが
またこのイベントの良さですよね。実際の友人の前だと逆にやりにくいよね。
「普段エラそうな事を言ってるけど違うじゃないか」って冷やかされたり、ボロが出るのも恥ずかしいし（笑）

レンタルだと、寄港地のスタッフが手伝ってくれるので、
自分でやる機会が少ないから、それでは離着岸は
いつまでも上手くならないですよね。

練習あるのみですねえ～。
今回、DMで案内をもらって良かったです。
それがなかったら、離着岸の練習は
いつまでもしなかったと思いますから。

受賞者の声

午前と午後と風が違ったので、スゴく難しかったですが、
メンバーに恵まれ、教えていただいたお陰でうまく行きました。

多くの方が１級をお持ちだったので、
足手まといになったら嫌だなと不安でした。
自分ではうまく行った実感は無いですが、
結果オーライで良かったのかな、
と思っています。

不安なところをとても丁寧に優しく教えていただきました。
レンタルは何度かしてましたが、真剣に練習をした事が無く、
今日は練習を徹底的にできる事を楽しみに来ました。
覚えていたつもりが本番では失敗したりして、
賞は望めないなと思っていましたが、獲らせていただいたうえ、
楽しい時間も過ごせて感謝しています。